

# WebEx Connect クラウドを使用した Jabber 認証の回避とオンプレミスプレゼンスサーバの代用

## 内容

---

[はじめに](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[オプション1](#)

[オプション2](#)

[オプション3](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、認証のために Jabber ユーザがオンプレミスの Instant Messaging and Presence ( IM&P ) サーバに接続する場合や Mobile and Remote Access ( MRA ) 用に設定された Expressway ( Collaboration Edge ) を経由する場合ではなく、WebEx Connect クラウドに直接接続する場合のインスタンスのソリューションについて説明します。

## 問題

組織のドメインが WebEx Connect クラウドにプロビジョニングされている場合、Jabber クライアントは、デフォルトの動作では WebEx Connect クラウドを使用します。

組織のドメインが WebEx Connect クラウドでプロビジョニングされているかどうかを確認するには、任意の Web ブラウザ ( Internet Explorer、Firefox、Safari、Chrome など ) に URL を入力します。companydomain.com のドメインを以下のように入力します。

[http://loginp.webexconnect.com/cas/FederatedSSO?org=companydomain.com ...](http://loginp.webexconnect.com/cas/FederatedSSO?org=companydomain.com) ( 以下を参照 )



This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document

---

```
▼<federatedSSO>
  <title>Connect Client Single Sign On</title>
  <status>FAILURE</status>
  <errorcode>7</errorcode>
  <reason>The org is not allowed to use SSO.</reason>
</federatedSSO>
```

errorcode の 7 は、そのドメインが WebEx Connect クラウドにプロビジョニングされたことを示します。

companydomain.com が WebEx カスタマーではない場合、「SSO プロトコル エラー」を意味する errorcode の 1 になることが予想されます。



```
<federatedSSO>
  <title>Connect Client Single Sign On</title>
  <status>FAILURE</status>
  <errorcode>1</errorcode>
  <reason>SSO protocol error.</reason>
</federatedSSO>
```

この URL は、Jabber for Windows の問題レポートのトレースに表示される URL とまったく同じです ( 「ドメインは WebexCustomer ですが、WebexSso をサポートしていません」 とも表示されます ) 。


## 解決方法

これを未然に防ぐ最善のオプションは、[WebEx サポート組織を通じて直接に操作し、お客様の組織のドメイン \( companydomain.com など \) を WebEx サポート組織のデータベースから完全に削除することです。](#)ただし、この方法は解決に時間がかかる可能性があります。お客様の組織が WebEx Connect クラウド サービスも使用している場合であっても、IM&P サーバの使用を選択することもできます。

これらは EXCLUDED\_SERVICES で WebEx を指定するために使用可能な方法です ( [Jabber 導入および設置ガイド](#) のドキュメンテーションを参照 ) 。

### オプション 1

Jabber for Windows クライアントを Microsoft Installer ( MSI ) を使用してインストールする際、EXCLUDED\_SERVICES=WEBEX を使用します。

 注：以前に Jabber for Windows を PC にインストールしている場合は、jabber-bootstrap.properties を最初に削除する必要があります ( Windows 7 PC の C:\ProgramData\Cisco Systems\Cisco Jabber から ) 。

```
msiexec.exe /i CiscoJabberSetup.msi /quiet CLEAR=1 EXCLUDED_SERVICES=WEBEX
```


詳細な説明については、Jabber の該当するバージョン用のガイドにある、インストール クライ

アントに関する章の[認証の引数を参照してください。](#)

## オプション 2

モバイル クライアント向けの任意の Jabber または Jabber for Mac クライアントで、以下の URL へのリンクをクリックします ( Web ページから )。

---

 注：ユーザがリンクをクリックして必要な設定でJabberアプリケーションを起動する前に、クライアントは最初にアンインストールされ、キャッシュファイルをクリアし、ソフトウェアを起動せずに再インストールできます。

---

ciscojabber://provision?ServicesDomain=companydomain.com&ServiceDiscoveryExcludedServices=WEBEX

companydomain.com についてこれを実現する HTML コードの例:


```
<HTML>
<BODY>
Mobile and Mac users, please
<A HREF="ciscojabber://provision?ServicesDomain=companydomain.com&VoiceServicesDomain=companydomain.com"
click here</A> from within a browser (such as Safari/Chrome/Firefox) on your mobile.
</BODY>
</HTML>
```

詳細な説明については、Jabber の該当するバージョン用のガイドにある、サービス検出に関する章の[設定 URL を参照してください。](#)

## オプション 3

設定ファイルで <ServiceDiscoveryExcludedServices> を使用し、WEBEX を指定します ( グループまたはグローバル jabber-config.xml ファイル )。

---

 注：この方法は、クライアントが最初にCUCM IM&Pにログインできるかどうかによって異なります。また、jabber-config.xmlをダウンロードしてキャッシュできるようにするために、まずJabberクライアントをオンプレミスで使用し、WebExクラウドサーバとの通信をブロックする必要がある場合もあります。

---

サービス検出で WebEx を除外する Jabber-config.xml グローバル設定ファイルの例:

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<config version="1.0">
  <Policies>
    <ServiceDiscoveryExcludedServices>WEBEX</ServiceDiscoveryExcludedServices>
  </Policies>
</config>
```

詳細な説明については、Jabber の該当するバージョン用のガイドにある、設定クライアントに関する章の[グローバル構成の作成を参照してください。](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。